



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 (ToMMo)

地域住民コホート室 報告

Vol. 5
2021年 1月

皆様のご協力のおかげで 順調に成果の創出がはじまっています！



「生活習慣に気を使っていたのに、なんでこんな病気に？」

「私の体質にあう“食事”“食生活”は何だろう？」

「大きな病気に罹ってしまったが、自分に一番よく効く薬は何だろう？」

「自分の家系にはこんな病気が多いけど、どんなことに気を付ければよいの？」

小暮助教が『日野原重明賞』を受賞しました



2019年11月30日、第31回 hypertension management research society において「特定健康診査時に尿ナトリウム/カリウム計で2年連続測定した尿ナトリウム/カリウム比の変化と血圧への影響」と題した発表を行ない、『 hypertension management research society 日野原重明賞』を受賞することが出来ました。

同賞は、血圧管理に関する優れた研究報告を行なった者に贈られる賞です。

皆様のご協力に心より感謝し、今後も住民の皆様健康に貢献出来るよう、研究に精進する所存です。

室長から皆様へひと言



皆様のご協力のおかげで、健康に関する成果が次々と創出されております。

誠にありがとうございます。

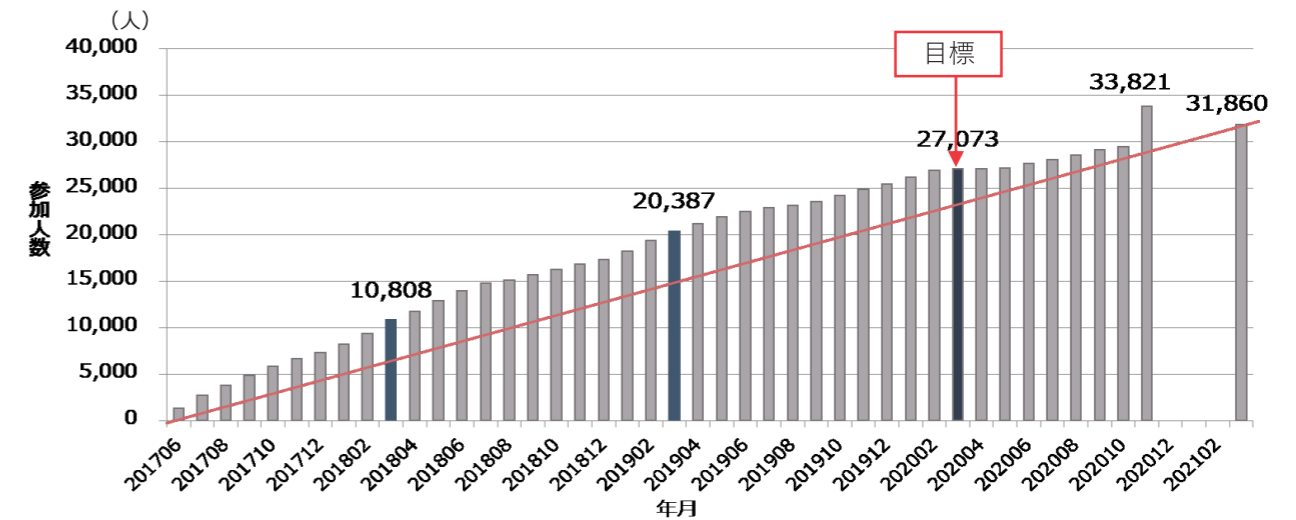
これからも、地域住民の方々の健康を見守る「健康復興」と共に、

「次世代型医療・次世代型予防」の確立に必要な健康情報の収集、開発に努めて参ります。

引き続き皆様のご理解、ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

地域住民コホート室長 寶澤 篤

たくさんの方々にご協力いただいております！

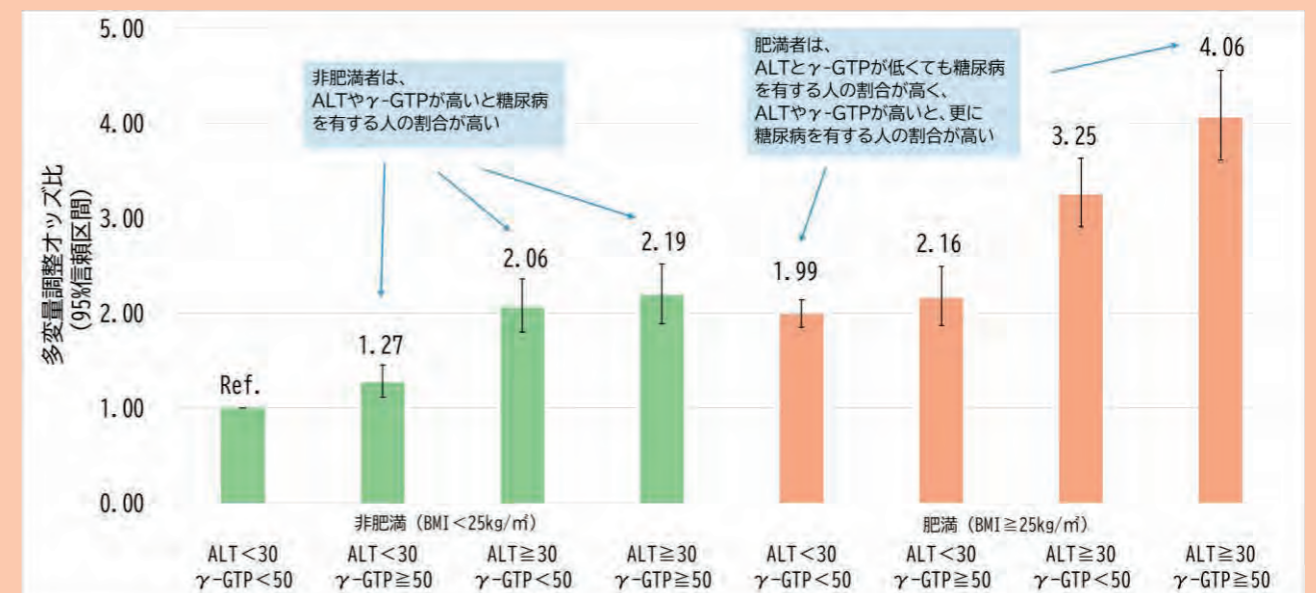


1回目の調査を地域支援センターで受けられた方のうち**82%の方が**、健診会場で受けられた方のうち**46%の方が**、2回目の調査も受けて下さいました！皆様のご協力に感謝申し上げます。

研究成果が続々と

非肥満者の肝機能高値と糖尿病との関連

2013～2015年度に宮城県と岩手県の特設健康診査会場で参加した62,786名の分析を行いました。

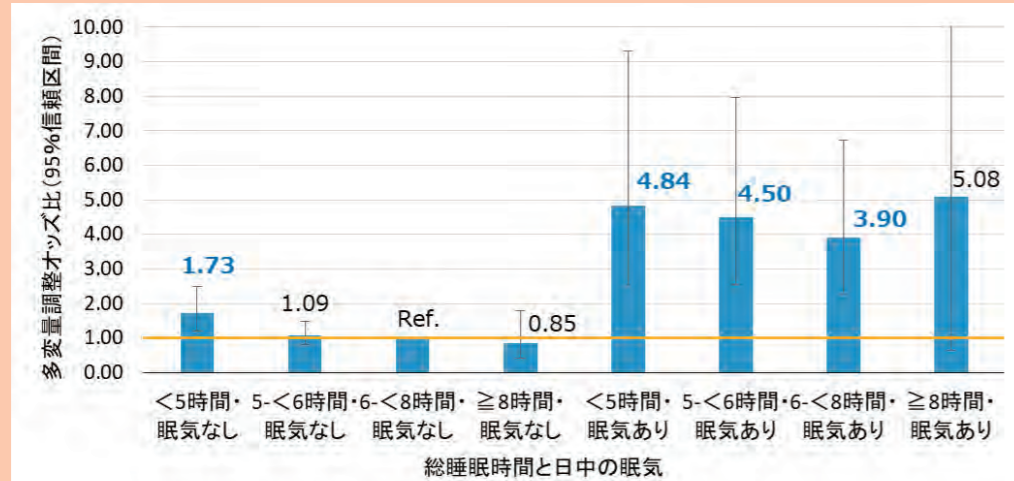


非肥満者 (BMI < 25kg/m²) においても、肝機能指標であるALTとγ-GTPが高値 (ALT ≥ 30IU/L, γ-GTP ≥ 50IU/L) だと、糖尿病を有する人の割合が高かった (2.19倍) ことが分かりました。

Itabashi F, et al. *Journal of Epidemiology*. 2020 (in press)

総睡眠時間および日中の眠気の組み合わせと心理的苦痛との関連

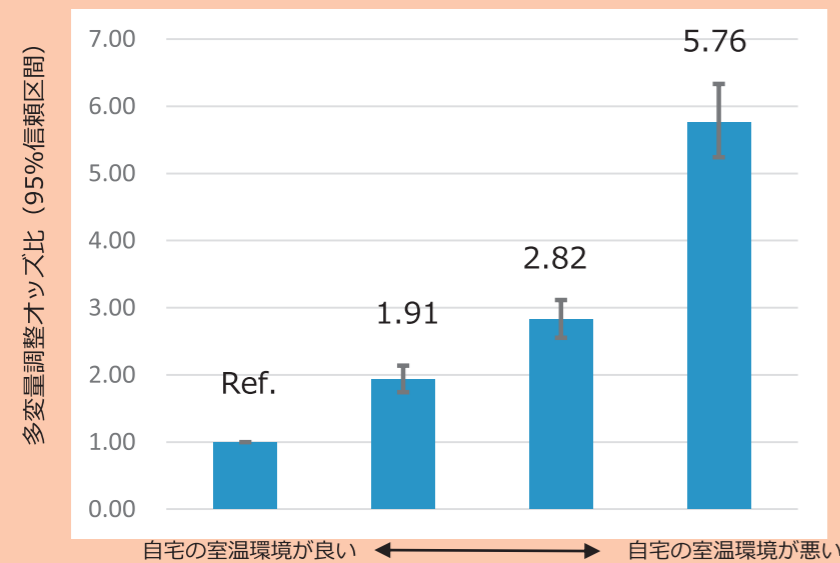
詳細二次調査 (2017年6月1日～2019年10月31日) に参加した方のうち、睡眠計を借りて行かれた1,754名の分析を行いました。



質問紙において、日中の眠気が「全くない/少しある」と回答し、かつ睡眠計で測定した睡眠時間が5時間未満であった方と、質問紙において日中の眠気が「かなりある/非常にある」と回答した方は、心理的苦痛を有する人の割合が高かったことが分かりました。第30回日本疫学会学術総会にて発表 (2020)

自宅の寒さ・暖かさと心理的苦痛の関連

2016年1月17日～2018年11月21日の追跡調査に参加した29,380名の分析を行いました。



自宅の室温環境について、室内が寒い、暑い等の不満を持っている人ほど心理的苦痛を有する可能性が高い (最も不満を持っている群で**5.76倍**) ことがわかり、その差は統計学的に意味のある差でした。

第30回日本疫学会学術総会にて発表 (2020)